

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	老人集会所運営				シート番号	011-075
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	長寿支援	課 評価責任者(課長名)
						羽野

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	地域全体で支える福祉の仕組みづくり	無
	2	事業開始年度	昭和 46 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市立老人集会所条例			
	4	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(平成30(2018)～32(2020)年度)			
5	事業実施の経緯	厚生労働省通知の「老人憩の家設置運営要綱」により他市では老人憩の家が整備されるなか、本市においては類似事業として市立老人集会所の整備を進めてきた。また現在は、地域住民による主体的な活動をさらに促進するため、市立の老人集会所から地域の民設民営による老人集会所へと転換を図っている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市内在住の各校区における高齢者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	高齢者にとって身近な地域活動の拠点施設を提供することで、高齢者の主体的な活動を促進し、高齢者福祉を増進することを目的とする。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	従前より設置している堺市立老人集会所の施設管理を行うと共に、校区老人クラブ連合会等に委託して施設の運営を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
10	直接実施以外の主な支出先	校区老人クラブ連合会、校区自治会連合会				

Ⅲ. 投入量

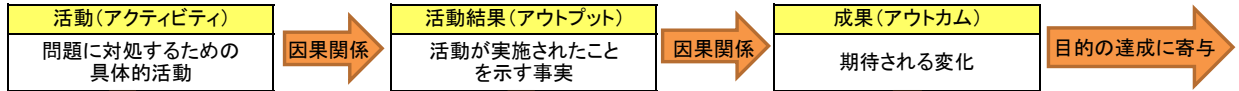
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11	事業費 (a)	千円	17,689	9,694	5,348	14,884	7,640	4,586	3,886
	主な事業費内訳								
	委託料	千円	15,464	7,212	3,663	3,793	2,283	2,039	2,287
	需用費(施設修繕料等)	千円	1,063	1,417	1,063	2,388	1,063	260	1,066
	施設改修・解体工事費	千円	650	650	0	8,001	4,294	1,886	0
	国・府支出金	千円							
	財源内訳								
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他()	千円							
	一般財源	千円	17,689	9,694	5,348	14,884	7,640	4,586	3,886
12	人件費 (b)	千円	2,460	2,460	2,460	2,460	2,430	2,430	2,460
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	20,149	12,154	7,808	17,344	10,070	7,016	6,346

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名 老人集会所運営	シート番号 011-075
------------------	------------------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



<p>[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載</p> <p>[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載</p>	<p>【達成率に基づいた評価基準】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>評価</th> <th>達成率</th> </tr> <tr> <td>大変良い</td> <td>120%以上</td> </tr> <tr> <td>良い</td> <td>100%以上120%未満</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>80%以上100%未満</td> </tr> <tr> <td>少し悪い</td> <td>60%以上80%未満</td> </tr> <tr> <td>悪い</td> <td>60%未満</td> </tr> </table>	評価	達成率	大変良い	120%以上	良い	100%以上120%未満	普通	80%以上100%未満	少し悪い	60%以上80%未満	悪い	60%未満
評価	達成率												
大変良い	120%以上												
良い	100%以上120%未満												
普通	80%以上100%未満												
少し悪い	60%以上80%未満												
悪い	60%未満												

事業の活動実績や成果

		令和元年度実績						
活動実績と成果	14	<p>・老人集会所は、令和元年度末時点で23か所あり、年度中に増減はなかった。</p> <p>・老人集会所の運営については、各校区の老人クラブ連合会や自治連合会等に委託することで、円滑に運営を行うことが出来た。</p> <p>・令和元年度の利用者数は、72,025人で、その用途は、趣味活動や老人クラブ活動であり、地域活動の拠点施設として機能した。</p> <p>・令和元年度に行った工事は、ブロック塀対策や空調取付のための施設修繕、改修工事を実施し、安全快適な環境整備を図った。</p> <p>・新型コロナウイルスが発生し、拡大防止の観点から、運営を委託している校区老人クラブ連合会等に説明のうえ、施設を臨時休館とした。</p>						
	15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		老人集会所施設数 (年度末現在)	箇所	目標値	23	23	23	23
				実績値	23	23	23	
				達成率	100%	100%	100%	
	評価			良い	良い	良い		
	算出方法・設定根拠など		老人集会所は今後、老人集会所に転換していく予定であるが、その調整に時間を要することから、当面は現状維持とする。					
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		利用者数	人	目標値	—	—	—	—
				実績値	83,438	78,762	72,025	
				達成率	—	—	—	
	評価			—	—	—		
	算出方法・設定根拠など		老人集会所は今後、老人集会所に転換していく予定であるため、老人集会所の積極的な利用を目標として設定するのは適さない。					

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	老人集会所施設数	箇所	23	23	23
	②	上記①にかかる年間経費	千円	12,154	17,344	7,016
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	528,435	754,087	305,044
	備考(算出についての説明等)					
18	①	利用者数	人	83,438	78,762	72,025
	②	上記①にかかる年間経費	千円	12,154	17,344	7,016
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	146	220	97
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

19	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>通常の施設の維持管理に加え、新型コロナウイルスへの対応も迅速に実施した。結果、地域の高齢者が安全に利用することのできる地域活動拠点を提供できた。</p>	<p>【分析のチェックポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の達成度はどうでしたか。 ○ 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。 ○ 資源投入は適切でしたか。 ○ 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。 ○ 有効性は高いですか。低いですか。 ○ 効率性は向上していますか。 ○ RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。 ○ ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。
----	--	--

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	老人集会所運営	シート番号	011-075
-------	---------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 高齢者にとって身近な活動拠点であり、廃止や休止を行えば、高齢者福祉の推進が阻害される可能性がある。現時点でも、老朽化した市立老人集会所から老人集会所に転換を図っており、管理上最低限必要な修繕費のみを支出している状態である。これ以上のコスト縮減等を行えば、集会所の維持・運営が出来ず、高齢者にとっての身近な活動施設が確保できなくなる可能性がある。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 同上	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 同上	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 市立老人集会所については、施設の利用方法についてのガイドラインを定め、各施設を訪問し、説明した。また、施設の利用許可事務の際にも、感染対策の周知を徹底した。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明	校区の老人クラブ連合会等に老人集会所の運営を委託し、既に市民協働を実施している。 また、高齢者にとって身近な地域活動の拠点を提供することは必要だが、整備主体は必ずしも市である必要性はないと考え、現在、老朽化した市立老人集会所は順次、地域の民設民営による老人集会所へと転換を進めているところである。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見	老朽化した老人集会所については老人集会所へと転換を図るため、地域会館業務を所管している自治推進課等と連携しながら、地域住民に働きかける。		